

白老川支流・大星沢右股沢登り

参加者・CL 長沼・AL 藤木晴・S 小山内・近藤・酒井・川村・太田・鈴木

BL 相馬・S 澤田・安藤・佐藤・笹山・栗山・荒谷

タイム・7:00 岡志別公園 7:45 ポロケシナイ駐車場 9:00 白老橋入溪

10:00 大星沢右股出会 11:40 望岳の滝・昼食 12:30 望岳の滝

14:00 虹の覆道 14:30 ポロケシナイ駐車場 16:30 岡志別公園

白老岳林道を下り白老橋下を入溪。澄んだ流れが沢靴に染みて来る。心地よい感触にしたる。



水量は思ったより少ない。増水時の「跡」が上部にくっきり残っていた。沢などの歩き方等をリーダーより指導受けつつ進んで行くと間もなく滝が



現われる。これより難関がどれだけあるのか？釜の右側をへつる。水面近くにフィールドをとるにするがどうしても上部に目が行く！！（逃げ腰）

何とかクリアー！！大星沢右股出会い、この辺りからは第1線を越えなければと女性陣度胸を決め左釜へと腰まで浸かり滝下へ。

その滝をよこぎり両側せまる壁をシャワーを浴びつつ三点支持で上部に出る。次には懸垂下降。

右釜をへつる事は無理、本日一番大きな釜がドーンと、大岩を中央に抱え「きて下さい」と手ぐすね引いて待っている。やはりここも第一線を越えると決めた。バシヤ（ドボーン）振り返ると、Aさん多分昨夜は仕事で帰宅が遅く入浴無しかしら？今、入浴しています。サー左上にトラバー



ス、日頃の訓練が凶とでるか吉と出るか懸垂下降です。（大地に悲鳴が響き渡りましたネ）ア、ア、フウどこからとなくため息が聞こえる～～～

。



シャワークライミングで、いくつかの滝と滑をクリアし望岳の滝着。アララ・フレアスカートのように広がる滝は？水量が少なく見られません。しかしヒンヤリとした澄んだ空気！！水力に打たれて出来た様々な奇形の穴、遥か上部からの大滝を眼下から望む事が出来、小さな足で一步一



歩進んで来た事に感謝です。この滝に水量が満ちていたなら、多分辿り着く事は出来ないと思う(ナイ、ナイ、ナイ) B班も到着。全員でのハイポーズ「パチリ」昼食は無事12時に・・(良かったね) さてこれから下降、虹の覆道

とりつきまで下ります。(Sさんが帰りに持って行くはずの鹿の角、二人連れパーティが持って登って来ちゃった。残念！！せっかく綺麗にしてみたのに・・) とりつきから浅い藪漕ぎをして最後の難所。垂直の鉄梯子。人によっては本日は一番苦勞した箇所だったのでは？(腹・尻・胸)ス



リムにしてから沢に行こう！！皆さん気をつけて下さい。「てんや」「わんや」の梯子登りも終わり全員到着バンザ〜〜〜イ。ポロケシナイ駐車場で、相馬・川村・荒谷さんとお別れ。12名温泉で汗を流し岡志別でお別れ。

一度は悪天候で幻となりました沢でしたが、再度計画してくださいましたリーダー、本当に有り難うございました。又、早朝から車を出し運転して下さいました方々お疲れ様でした。小刻みな計量ですのに苦勞した事と思います本日の会計さん本当に有り難う！！

記録

鈴木